「平成15年7月九州豪雨災害に関する調査報告会」開催のご案内

九州地方に甚大な被害をもたらした昨年７月の梅雨前線豪雨の土砂災害について、国土技術政策総合研究所、東京大学、九州地方整備局、土木研究所等では、災害の実態を把握するとともに、今後のより効果的な被害軽減対策を検討するために種々の調査を実施してきました。

そこで、これらの調査成果をもとに、本年の梅雨期を含めた今後の土砂災害対策に反映すべき点を抽出し、土砂災害による被害の軽減に資することを目的として、報告会を開催しますので、奮ってご参加下さい。

日　　時：平成１６年６月４日（金）
　　１３：３０～１７：００
場　　所：弘済会館
　　東京都千代田区麹町5-1
参加定員：１５０名
参加費　：無料
申込方法：別紙申込書により、国土技術政策総合研究所宛に申し込み下さい。

プ　ロ　グ　ラ　ム

１．開会挨拶

廣　井　　脩　　東京大学大学院情報学環・学際情報学府　教授
杉　浦　信　男　　国土技術政策総合研究所危機管理技術研究センター長

２．調査報告

①平成１５年７月九州豪雨災害の概要
（判田乾一　　国土交通省九州地方整備局　河川部建設専門官）
②国土交通省レーダー雨量計による豪雨実態把握
（山越隆雄　　独立行政法人土木研究所　土砂管理研究グループ研究員）
③太宰府市原川における流木の発生・流下・堆積の実態
（田中秀基　　独立行政法人土木研究所　土砂管理研究グループ主任研究員）
④大宰府市原川および水俣市宝川内地区集川で発生した土石流の実態
（水野秀明　　国土技術政策総合研究所　危機管理技術研究センター主任研究官）
⑤平成15年７月九州地方豪雨時における市町村の防災体制の実態
（野呂智之　　国土技術政策総合研究所　危機管理技術研究センター主任研究官）
⑥住民意識調査の概要（ヒアリング）
（中森広道　　日本大学文理学部　助教授）
⑦住民意識調査の概要（アンケート）
（中村　功　東洋大学社会学部教授）

３．総合討論（パネルディスカッション）

座　　長：小山内　信　智　（国土技術政策総合研究所　危機管理技術研究センター砂防研究室長）
パネラー：海　堀　正　博　（広島大学　総合科学部助教授）
　　久保田　哲　也　（九州大学大学院　助教授）
　　笹　原　克　夫　（独立行政法人土木研究所　土砂管理研究グループ上席研究員）
　　廣　井　　脩　（東京大学大学院情報学環・学際情報学府　教授）
　　判　田　乾　一　（国土交通省九州地方整備局　河川部建設専門官）
　　水　野　秀　明　（国土技術政策総合研究所　危機管理技術研究センター主任研究官）

（五十音順）

４．閉会

主　催：国土政策技術総合研究所、東京大学大学院情報学環・学際情報学府（廣井研究室）、
　　国土交通省九州地方整備局、独立行政法人土木研究所
後　援：（財）砂防・地すべり技術センター